

令和6年2月15日  
於  
府中市立教育センター

令和6年第2回

府中市教育委員会定例会議事録

府中市教育委員会

令和6年第2回府中市教育委員会定例会議事録

1 開 会 令和6年2月15日(木)

午後2時00分

閉 会 令和6年2月15日(木)

午後2時49分

2 出席者

教育長 酒井 泰 委員 日野 佳 昭

委員 平原 保 委員 増 渕 達 夫

委員 山下 和 則

3 欠席者

なし

4 出席説明員

教育部長 矢ヶ崎 幸 夫 文化スポーツ部長 佐 藤 直 人

教育部副参事兼指導室長 隅 田 登志意 文化生涯学習課長 鈴 木 正 憲

教育総務課長補佐 若 山 貴 文化生涯学習課長補佐 斎 藤 麻 美

学校施設課長 角 倉 道 晴 ふるさと文化財課長 江 口 桂

学校施設課長補佐 遠 藤 勝 久 ふるさと文化財長補佐 廣 瀬 真理子

学校施設整備担当副主幹 崎 井 優 樹 市史編さん担当副主幹 阿 部 憲 靖

学務保健課長 佐 伯 富 丈 スポーツタウン推進課長 目 黒 昌 大

学務保健課長補佐 奥 恵 一 スポーツタウン推進課長補佐

給食センター所長 谷 本 耕 一 図書館長 塚 本 淳

給食センター副所長 桐 生 光 章 図書館長補佐 大 沢 力

教育支援担当主幹 菅 原 尚 志 美術館副館長 田 口 宏 治

教育指導担当主幹 濱 田 昌 也 美術館副館長補佐 鎌 田 享

指導室長補佐 南 學 進 大 木 忠 厚

指導主事 鈴木 篤

指導主事 林 達 樹

指導主事 中 尾 友 昭

5 教育委員会事務局出席者

教育総務課主査 大 沢 直 樹

教育総務課主任 徳 永 昭 子

## 議 事 日 程

第1 議事録署名員指名について

第2 会期決定について

第3 議 案

第10号議案

令和6年度府中市美術館企画展観覧料について

第11号議案

府中市教育委員会事務局職員の人事異動について

第4 報告・連絡

(1) 寄附の採納について

(2) 府中市立学校給食センター運営審議会答申について

(3) あすチャレ！運動会の開催について

(4) 府中市図書館協議会報告書について

(5) 企画展「春の江戸絵画まつり ほとけの国の美術」の開催について

第5 その他

第6 教育長報告

第7 教育委員報告

午後2時00分開会

○教育長（酒井 泰君） ただいまより、令和6年第2回府中市教育委員会定例会を開会いたします。

◇

○教育長（酒井 泰君） 日程第1、議事録署名員指名につきまして、本日の教育委員の議事録署名員は、山下委員にお願いいたします。

◇

○教育長（酒井 泰君） 日程第2、会期の決定でございますが、会期は本日1日といたします。

本日は追加議案1件を含め、議案が2件ございます。

◇

◎傍聴許可

○教育長（酒井 泰君） 傍聴希望者がおりますので、許可してよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○教育長（酒井 泰君） それでは、許可いたします。

○教育長（酒井 泰君） 次に、本日の議案のうち、第11号議案は人事案件ですので、非公開扱いとし、議事進行の都合上、議事日程の最後に審議することとしてよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○教育長（酒井 泰君） それでは、日程第7、教育委員報告の後、定例会を中断し、非公開会議で定例会を再開して、第11号議案を審議いたします。

傍聴の方に申しあげます。本日の第11号議案につきましては、人事案件のため、資料を配付しておりませんので、ご承知おきください。

◇

第10号議案 令和6年度府中市美術館企画展観覧料について

○教育長（酒井 泰君） 日程第3、第10号議案の審議に入ります。

議案の朗読をお願いします。

（事務局朗読）

○教育長（酒井 泰君） 説明をお願いします。

○美術館副館長補佐（大木忠厚君） それでは、ただいま議題となりました第10号議案につきましてご説明いたします。お手元の議案書をお開きください。

1の令和6年度府中市美術館企画展の展覧会名、期間、観覧料につきましては（1）から（5）に、それぞれ記載のとおりです。

続いて企画展の内容についてご紹介します。（1）の吉田初三郎は大正から昭和にかけて日本各地の絵地図を描き、人気を博した方です。会場では幅4メートルを超える絵地図の原画10点余りをはじめ、多数の作品を紹介します。

（2）の吉田遠志は昭和戦後期に活躍した作家です。シマウマやチーターなど野生動物の姿を木版画や油彩画で生き生きと表現しました。夏休み時期の子供たちに楽しんでいただける企画です。

(3) のアルフォンス・ミュシャは19世紀末のパリで活躍した作家です。アールヌーボーと呼ばれる華やかなスタイルのポスターで一世を風靡しました。今回はそれらポスターや油絵によりミュシャの世界を紹介します。

(4) の小西真奈は1968年に生まれ、現在は多摩地区を拠点に活躍する画家です。旅先で巡り会った風景や日常生活で目にした景色をフレッシュな感覚で描き続けています。

(5) の「司馬江漢と亜欧堂田善」は江戸時代に油絵や銅版画を手がけた2人の画家を紹介する展覧会です。西洋風の遠近表現や明暗表現を取り入れながら描かれた斬新な作品の数々を紹介いたします。

次に2の団体料金などについてご説明します。(1)の企画展の団体観覧料につきましては、20人を超える団体利用者に対して1人1回につき各展覧会個人観覧料の2割引き、ただし10円未満は切り捨てとします。

(2)のメンバーシップ会費につきましては、1年間に何度でも展覧会を観覧できるものですが、各会費は記載のとおりです。

(3)のメンバーシップの団体会費につきましては、20人を超える団体利用者に対して1人につきメンバーシップ会費の2割引きとします。

(4)のメンバーシップ学校法人会費につきましては、市内近隣の大学及び専門学校を対象とします。会費につきましては記載のとおりです。

(5)の賛助会員会費につきましては美術館をサポートしていただける個人、団体・企業、大学を募るもので、各会費は記載のとおりです。

次に3その他の割引ですが、(1)「アルフォンス・ミュシャ展」等の前売り券については2の(1)の団体料金を適用します。

(2)「司馬江漢と亜欧堂田善」は会期半ばの4月14日曜日に前期と後期で大幅な展示替えを行うため、観覧者の利便性を考慮し、2回目の観覧料は半額といたします。

最後に4の音声ガイド貸出料金ですが、主に春の展覧会で貸出しを予定しており、金額は記載のとおりです。

以上で説明を終わります。よろしくご審議くださいますようお願いいたします。

○教育長(酒井 泰君) 事務局の説明が終わりました。何かご質問はございますか。

○委員(日野佳昭君) 音声ガイドについてです。私は美術についての知識は乏しいので、この音声ガイドをぜひ今度使ってみたいと思っているのですが、利用状況というのはどのようなになっていますでしょうか。

○美術館副館長補佐(大木忠厚君) 音声ガイドの令和4年度の利用実績ですが、597件の利用実績がございました。

○教育長(酒井 泰君) よろしいでしょうか。ほかにご質問はございますか。

○委員(山下和則君) (5)の賛助会員会費とあるのですが、個人と団体・企業の今現在の会員の人数を教えてくださいませんか。

○美術館副館長補佐(大木忠厚君) 賛助会員でございますが、個人の賛助会員につきましては現在9名となっており、団体・企業につきましては0件となっております。なお、学校につきましては学校法人メンバーシップで6校となっております。

○教育長(酒井 泰君) ほかにご質問はございますか。

それでは、ほかにご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、お諮りいたします。第10号議案「令和6年度府中市美術館企画展観覧料について」、決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長(酒井 泰君) 全員異議なしですので、原案どおり決定いたします。



◎寄附の採納について

○教育長(酒井 泰君) それでは日程第4、報告・連絡ですが、報告・連絡(1)を教育総務課、お願いします。

○教育総務課長補佐(若山 貴君) それでは、資料1の「寄附の採納について」をご報告いたします。

今回は1件でございまして、学校教育の振興に寄与するために寄附されたものでございます。寄附の採納先は市立小学校でございます。寄附品は金融に関する書籍22セット、63万652円。寄附者は多摩信用金庫理事長 金井雅彦様、受領日は令和6年1月30日でございます。

なお、府中市教育委員会表彰規程第9条の規定によりまして、委員会が適当と認めたときは感謝状を贈呈できることとなっており、取扱い上10万円以上相当額の寄附を対象としておりますが、今回の寄附者につきましては感謝状の受領辞退のご意向を示しておりますので、贈呈しないことといたします。

報告は以上でございます。よろしく願いいたします。

○教育長(酒井 泰君) 何かご質問、ご意見ございますか。

○委員(増淵達夫君) 金融に関する書籍22セットということなのですが、この書籍がどのような内容のものなのかということと、それから今回、多摩信用金庫さんが寄附してくださることの趣旨を教えてくださいと思います。

○教育総務課長補佐(若山 貴君) 今回寄附いただいた書籍についてですが、1校当たり20冊の本をご寄附頂いたものでございまして、いわゆるお金の使い方、例えばお小遣いの使い方ですか、あとはお金クイズ図鑑であるとか、そういった金融に関する学習ができるような書籍となっております。

今回、多摩信用金庫さんからお話を頂いた経緯としては、多摩信用金庫の周年事業の一環として、当市の学校徴収金の口座引き落としを多摩信用金庫で利用している学校があり、ご縁があるとのことで寄附のお申し出を頂いたところでございます。

○教育長(酒井 泰君) ほかにご質問、ご意見はございますか。よろしいでしょうか。それでは報告・連絡(1)について了承いたします。



◎府中市立学校給食センター運営審議会答申について

○教育長(酒井 泰君) 続きまして、報告・連絡(2)を学務保健課、お願いします。

○給食センター副所長(桐生光章君) それでは資料2「府中市立学校給食センター運営審議会答申について」、お手元の資料に基づきご説明をいたします。

初めに1の「趣旨」ですが、令和6年1月29日に教育委員会から府中市立学校給食セン

ター運営審議会へ諮問したことについて、令和6年2月13日に答申が提出されましたので、報告をするものです。

次に2の「諮問内容」は、「適正な学校給食の額について」でございます。

次に3の「内容」は、審議の結果、答申の結論に記載の額への改定が必要であるとの答申を受けたことを記載しております。

それでは、答申の具体的な内容についてご説明をいたします。資料3枚目の裏面をご覧ください。1の「審議の経過」として、府中市立学校給食センター運営審議会は教育委員会からの諮問を受け、適正な学校給食費の額に係る審議を行ったことを記載しております。

次に2の「審議の前提となる状況」は、学校給食費が平成21年から改定を行っておらず、質を下げることなく「安全、安心でおいしい学校給食」の提供に努めてきたこと、物価の高騰に加え、エネルギー価格も上昇し、健全な学校給食の運営を維持することが困難な状況になっていること、府中市の1食単価順位が26市の中でも下から3番目以内の位置であることを記載しております。

次に3の「審議の内容」として、学校給食費は現在の物価状況に即した給食費への改定が必要であること、また、その額は前回改定時からの物価の上昇率を踏まえ、消費者物価指数や給食に使用する食材の価格上昇の状況を考慮し、物価上昇率を19.6%とすることが妥当であることを記載しております。

最後に4の「結論」として、児童・生徒の学校給食費の額は、表に記載の額への改定が必要であると判断したことを記載しております。今後は今回の答申で頂いた意見を基に学校給食の適正な額について見直しを進めてまいります。

以上で運営審議会の答申に関する報告を終わります。よろしくお願いいたします。

○教育長（酒井 泰君） 何かご質問、ご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、報告・連絡（2）について了承いたします。



◎あすチャレ！運動会の開催について

○教育長（酒井 泰君） 続きまして報告・連絡（3）をスポーツタウン推進課、お願いします。

○スポーツタウン推進課長補佐（塚本 淳君） それでは「あすチャレ！運動会開催について」、資料3によりご報告いたします。

本事業は日本財団パラスポーツセンターが提供する運動会形式のスポーツプログラムでございます。パラスポーツの普及、啓発を通じて年齢や性別、障害の有無にかかわらず、誰もがスポーツを楽しむきっかけとすることを目的として開催するものでございます。

開催日時は3月9日土曜日、午後1時から4時半で、生涯学習センターにて開催いたします。実施競技はボッチャ、シッティングバレーボール、車いすリレーの3競技を予定しております。パラスポーツの魅力をリアルに体感できるイベントとなっております。

そのほか事業の詳細につきましては資料に記載のとおりでございます。

なお、本イベントにつきましては2月1日号の広報ふちゅうに掲載しているほか、事業PR用のチラシを各小・中学校に配布させていただいております。

説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○教育長（酒井 泰君） 何かご質問、ご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。  
それでは、報告・連絡（3）について了承いたします。



◎府中市図書館協議会報告書について

○教育長（酒井 泰君） 続きまして報告・連絡（4）を図書館、お願いいたします。

○図書館長補佐（田口宏治君） それでは、図書館から資料4に基づきまして、「府中市図書館協議会報告書について」、ご報告いたします。

本市では図書館サービスの点検、評価の実施に向け、令和4年7月に本市の附属機関である府中市図書館協議会に対し、図書館サービスの点検、評価の仕組みづくりについて令和4年度、令和5年度の2年間で審議し、その結果を報告するよう依頼してきましたが、去る12月に審議結果として別添のとおり報告書が提出されましたので、その内容について報告するものです。

表紙をおめくりください。初めに「協議結果」ですが、こちらには令和4年度と令和5年度の2年間で審議を行った経緯やその内容等が記載されております。

1ページおめくりください。こちらからは「府中市立図書館運営方針」、「府中市立図書館サービス状況調査票」、「府中市図書館協議会委員名簿」となっております。

初めに「府中市立図書館運営方針」をご覧ください。こちらは図書館サービスの点検、評価の仕組みづくりの一環としまして、令和3年2月に策定しました府中市立中央図書館運営方針について、図書館協議会で内容をご協議いただき、その協議結果を踏まえ、昨年、令和5年9月に中央図書館だけではなく、地区図書館の役割やサービス、また電子書籍の活用などの新たな施策の追記などを行い、府中市立図書館全体の運営方針として作成し直したものでございます。内容についての説明は割愛させていただきますが、こちらは昨年9月から図書館ホームページで公表しており、図書館サービスの点検、評価を行う際のベースとなるものでございます。

続きまして、図書館運営方針の次に添付されております「府中市立図書館サービス状況調査票」、A3判2枚となっておりますが、こちらをご覧ください。

こちらの調査票は、ただいまご説明しました府中市立図書館運営方針に基づき、市が計画的に各種図書館サービスを実施し、その実施結果を適切かつ的確に点検、評価することにより市立図書館の運営やサービスの改善につながることを目的としてPDCAサイクルを意識し、作成されたものとなります。

なお、当該調査票にはイメージとして記入例が記載されていますが、実際には市が今年度実施しました事業内容については、来年度に点検、評価をしていただく予定としております。

具体的な流れでございますが、図書館サービスに関する評価については従来、行政評価と教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の2つを実施していますので、これらの評価結果等を踏まえ、市が府中市立図書館サービス状況調査票を6月末までに作成いたします。その後、図書館協議会に評価内容を説明し、外部評価として図書館協議会から各種サービスへのご意見、ご要望や総合所見を頂く流れとなります。

なお、点検、評価につきましては来年度から毎年実施する予定であり、評価結果については市及び図書館ホームページで公表してまいりたいと考えております。



報告は以上となります。よろしくお願いいたします。

- 教育長（酒井 泰君） 何かご質問、ご意見はございますでしょうか。よろしいですか。  
それでは報告・連絡（4）について了承いたします。



◎企画展「春の江戸絵画まつり ほとけの国の美術」の開催について

- 教育長（酒井 泰君） 続きまして報告・連絡（5）を美術館、お願いいたします。  
○美術館副館長補佐（大木忠厚君） それでは、資料5に基づき美術館の次回企画展についてご報告いたします。

府中市美術館では、3月9日土曜日から5月6日月曜日まで企画展「春の江戸絵画まつり ほとけの国の美術」を開催します。観覧料などは記載のとおりですが、市内小中学生は学びのパスポートの提示により無料で観覧できます。また、会期中の4月8日月曜日に大幅な展示替えを行うことから2回目の観覧は半額としています。

美術館では、毎年春の時期に江戸時代の絵画を紹介する展覧会を開催しています。今回は仏教という観点からこの時代の美術を振り返ります。日本では古くから仏教の説話が多く絵画に描かれ、仏への信仰は様々な創作物を生み出す原動力となってきました。伝統的な仏画から意外な作品まで多彩な作品を紹介いたします。

なお、企画展の会期中、常設展示室では府中市美術館の所蔵作品をご紹介します。ぜひご覧いただきたくご案内申し上げます。以上でございます。

- 教育長（酒井 泰君） 何かご質問、ご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。  
それでは報告・連絡（5）について了承いたします。



◎その他

- 教育長（酒井 泰君） 続いて、日程第5、その他ですが、何かございますか。  
○委員（日野佳昭君） 前回もお話をさせていただいたのですが、府中市の防災計画について、分量が多い計画と聞いています。教育委員会として見ておかなければいけないことがあれば、抜粋でも結構ですので、一度、教育委員会定例会に出していただけないかなと考えております。いかがでしょうか。  
○教育総務課長補佐（若山 貴君） 府中市防災計画については、防災危機管理課で作成の途中でございます。時期を見て、教育委員の皆様にも教育に関わる部分についてお示しをしていければと考えておりますので、よろしくお願いいたします。  
○教育長（酒井 泰君） ほかにございますか。よろしいでしょうか。



◎教育長報告

- 教育長（酒井 泰君） それでは、日程第6、教育長報告に移ります。  
活動状況については別紙の「令和6年第2回教育委員会定例会教育委員会活動報告書」のとおりでございます。なお、この報告書は令和6年1月13日から令和6年2月9日までの活動内容となっております。

それでは、私から何点かお話をさせていただきたいと思います。

活動報告書に記載のとおり、1月19日金曜日に浅間中学校、2月8日木曜日には府中第

九小學校で研究発表会が開催されました。ともに東京都教育委員会の指定を受けた研究で、浅間中學校は「主体的に学習に取り組む態度の育成」を研究テーマにした3年間にわたる研究、府中第九小學校は「友達は宝物、自分も宝物、自他を大切に作る児童の育成」を研究テーマに2年間にわたった研究成果を発表していただきました。両校とも様々な工夫を凝らし、児童・生徒に研究の目的とした力を育成するべく、組織を挙げて取り組んでいただきました。府中市の貴重かつ共有の財産として全ての学校で活用が図られることを期待しているところです。

2点目です。ここに記載はございませんが、1月28日日曜日に片町文化センターで開催されました武蔵府中郷土かるた選手権についてです。府中市の遺産の活用を考える会の主催での開催でしたが、熱気あふれる競技が展開されました。この郷土かるたは、昨年府中市の文化財に指定されましたが、この郷土かるたに興味を持ち、熱心に取り組む児童が多くいることを大変うれしく思いました。かるたに触れることで、郷土府中に対する学びが深まり、愛着と誇りを感じる児童が育つことにつながっています。当日、会の運営に今年も高校生が参加しており、この取組が根づいていることと継承されていることを心強く感じました。

3点目は、これも活動報告書には記載はございませんが、1月30日火曜日に開催されました府中市いじめ問題対策委員会についてです。昨年6月に第1回目が開催されて以来、今年度2回目の開催でした。この委員会は昨年4月から施行となった府中市いじめ防止推進条例に基づき設置されたものですが、今回は府中市のいじめの状況を踏まえ、未然防止や早期対応に求められる具体的な対応について各委員の専門的な立場からのご意見を頂く形で進められました。本委員会で頂戴しましたご意見を各学校に速やかに情報提供し、各学校のいじめ防止の取組の充実に生かしたいと思い、既に定例の校長会、副校長会で情報提供をして各学校のいじめ対応の充実に役立ててもらっているところです。

最後ですが、昨年から日本中で話題となっております大谷選手のグローブについてです。全ての府中市立の小學校に先週届きました。この日に備え学校では児童たちから意見を聞き、どのように活用すべきかをあらかじめ準備してもらっていました。児童たちからは、「卒業が近い6年生から使ってもらおう」とか、「体育の時間にはグローブを使う種目はないけど、特別にキャッチボールをさせてほしい」など、他人に配慮した意見が出されているとのことです。校長室や職員室で飾ることはせず、どんどん楽しんで使っていただけたらありがたいと思っています。私からは以上です。

◇

◎教育委員報告

○教育長（酒井 泰君） 続きまして、日程第7、教育委員報告に移ります。

活動状況については別紙のとおりでございます。まず初めに日野委員、お願いします。

○委員（日野佳昭君） 今回は、教育委員活動はないため、私のクリニックの感染症の状況と学校給食センター運営審議会での私の意見を報告します。

インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行は、この3週間ピークが続いております。この1週間はコロナ感染者が減少傾向、B型インフルエンザが急速に広がっております。両ウイルスの同時感染も見られています。幸いなことに私のクリニックで重症化した患者さんはいませんが、重症化しやすい乳幼児の患者さんが比較的少なく、まだ油断できない

い状況です。

1月26日、2月6日、行われました学校給食センター運営審議会における審議事項「適正な学校給食費の額について」、発言した内容です。総合教育会議での意見と重なる内容です。もともと給食費の負担方法については政府が考えることであり、義務教育において全国で大きな格差は望ましくありません。給食費全体の府中市予算は9億円強です。市の各施策における市民の予算要求の中でも大きな額です。今後給食費を市で全額負担することとすれば高齢化社会、温暖化、世界情勢、災害などにより物価の値上げも予想され、他の施策へ影響します。

昨年度、給食費は半年無料とされました。全国には既に給食費が無料化されている自治体があります。給食センター方式、弁当業者に委託等ありますが、給食の献立は府中市と大きく違います。保護者に不満はありますが、無料であることにより大きな声となっていないようです。府中市ではもともと給食費の一部を補填しており、給食の献立は近隣自治体と差があります。全額を無料化するのではなく、一部の費用は保護者負担とすることにより、学校給食への理解を深めてもらうとともに、給食内容を今よりおいしいものにしていただくことを期待します。

今後、値上げにより給食費の実費は増加することが予想され、自治体の負担は増加します。東京都は給食費の半額を補助する方向で検討しているそうです。結論につきましてはPTAの方々のご意見を尊重したいと考えております。以上です。

○教育長（酒井 泰君） 続きまして平原委員、お願いいたします。

○委員（平原 保君） 私は先月から今月にかけて複数の研究発表会を参観し、市町村の教育委員会研究協議会に出席しました。そこで次の4件について報告します。

第1に、浅間中学校における東京都教育委員会授業改善推進拠点校としての研究発表会です。研究主題「主体的に学習に取り組む態度の育成と評価～ルーブリックを活用した指導・評価方法の研究～」に迫る取組を参観しました。3年間の研究経過に次のように書いてありました。2年次、3年次においては全教員がルーブリックを作成し、課題解決型・協同的な探究学習に取り入れた研究授業を行って、相互に参観したことや授業前後における協議を重ねて、その成果や課題を学校全体で共有したことが報告されています。

このように全教員が当事者意識を持って実践的研究に取り組み、授業改善を目指して研さんを積まれたことに大きな意義があると感じました。そして全教員が一丸となって取り組んだ研究成果が、公開授業における生徒の学ぶ姿によく表れていました。例えば英語では職場体験について効果的に伝え合う学習をしました。ルーブリックを基に互いに前向きなアドバイスをし合い、よりよいスピーチができるように主体的に学習に取り組んでいました。

第2に、府中第九小学校における東京都教育委員会人権尊重推進校としての研究発表会です。研究主題「友達は宝物、自分も宝物、自他を大切にする児童の育成～子供の考えを活かした授業を通して」に迫る取組を参観しました。九小では第1年次に、教職員の人権意識を高めるために人権教育プログラム等を活用して研修を行いつつ、人権尊重の視点を重視した授業実践を積み重ねてきたとのこと。その基盤の上に2年次は児童一人一人を尊重した指導を大切にするにはどういうことなのかを問い直しながら授業実践を積み重ねてこられたとのこと。こうした先生方自身が人権意識を高めるとともに、着実に授業研究に取り組

んでこられた成果は、特別支援学級を含めた全学級の公開授業における児童の学ぶ姿によく表れていました。例えば5年生、総合的な学習の時間「シン・九小変身大作戦」では児童がタブレットや手作りポスターを活用して発表する様子や発表後のアドバイスカードへの記述内容から、温かく対話的な雰囲気が醸成されていることや、認め合い、励まし合う態度が育成されていることを感じ取ることができました。

第3に、令和5年度府教研研究発表会参観です。新型コロナの感染症の影響により、どりーむホールでの開催ができたのは4年ぶりのことです。学校事務部会と学校教育相談部会の研究発表は、日々の教育活動の充実のために貴重な示唆を与えてくださったと実感しました。併せて府中市立小中学校の先生方が一堂に会して今年度の研究の取組や成果を共有することができたことは大変意義深いことだと感じました。また、吉津恭子先生のご講演「東日本大震災を通して考えること」は、吉津先生ご自身の体験をもとに災害時の対応や防災教育の重要性を教えてくださいました。

第4に、2月9日に開催された令和5年度市町村教育委員会協議会へ参加しました。初めの全体会では、文科省初等教育課長から「初等・中等教育施設の動向について」で、教師を取り巻く環境整備、小学校高学年における担任教科制、公立学校の1人1台端末の着実な更新のための予算、学びの保障に向けた不登校対策、いじめの状況等についての説明がありました。

続く分科会ですが、私はいじめ対策、不登校支援の分科会に参加しました。同じグループには山形市、川口市、柏市、那覇市の教育委員の方々と主に私たちは不登校支援の取組を重点化して情報交換や協議を行いました。まず不登校の状況ですが、府中市を含め、どこの自治体でも増加傾向にあるという同じ状況がありました。その対応には各市共通したことや独自の対応をしている地区もありました。この分科会の参加を通して、各自治体の取組の状況や成果、今後への課題などを共有することができ、府中市における不登校支援についても改めて見つめ直し、考える機会となりました。

ところで、先ほど教育長から、大谷選手のグローブが届いたというお話を伺いました。私もテレビや新聞で各自治体に届いたという、子供たちが喜んでる写真を見ていて、府中市も早く届いてほしいなと思っていましたが、安心しました。また、「校長室の飾り物ではない」というお言葉に、私も同感です。子供たちがあのグローブに手を通して遊んで楽しんでこそ、やはり感動が子供たちの心に残って、将来の夢や希望につながっていくのだと思います。ぜひあのグローブを飾り物ではなく、子供たち一人一人が手にする機会を学校で作ってほしいと願っています。以上です。

○教育長（酒井 泰君） ありがとうございます。続きまして増淵委員、お願いします。

○委員（増淵達夫君） それでは、まず2月1日、令和5年度交通安全対策審議会に出席をいたしました。この審議会は市議会議員の方や府中警察署の方、それから消防署の方、交通安全協会の方など、合計23名で構成されています。府中市の交通事故の情勢ということで府中警察から報告がありましたが、令和5年における市内の交通事故発生件数は290件、前年が289件ということですのでほぼ同じ数ということです。このうちの死者数が3名、前年は2人です。子供の事故件数は15件、前年が24件でしたので減少したということでした。時刻別の発生件数としては16時から17時の夕方が最も多く、次いで朝の8時から

10時の間ということでした。それから、府中市が実施している交通安全の啓発事業等として、これは生活環境部地域安全対策課からの報告ですけれども、交通安全表彰式やスケアードストレート、多摩川かぜのみちマナーアップキャンペーンなどの取組や、自転車用のヘルメットの購入費用の助成などを行っていて、昨年度は1万2,000件の申請があったという報告がありました。

続いて2月7日、府中市立小中学校教育研究会の研究発表会に私も参加しました。重複は避けたいと思いますが、研究発表会として学校事務部と学校相談部の発表がありました。学校事務部はとてもプレゼンテーションが上手だと思いました。「風通しのいい事務室を目指して」という主題で、給与、予算、財産管理、それから福利厚生の基本的な事項について発表があって、例えば「年末調整とはどういうことですか」という非常に初歩的なことをとても分かりやすく発表してくださって、初任者から経験のある教員までとてもよく理解できたのではないかと思います。

学校相談部の発表は、単なる発表だけではなく、「出席者一同でアクティビティをやりましょう」ということで、相談に活用できるアクティビティ、児童・生徒理解に活用できるアクティビティを行いました。教育相談はスクールカウンセラーが配置されていますので、「スクールカウンセラーが」と受け止める方がいると思いますが、やはりスクールカウンセラーや養護教諭、学校の先生方が学校の中では層になって、それぞれの職層に応じて、もしくは担当に応じて、相談の技術や能力が必要だということを改めて感じた次第です。

また、いわき短大の吉津恭子先生の講演「東日本大震災を通して考えること」としてご自身の東相馬市での経験、教員として考えておかなければならないことは何かというお話をされ、非常に胸を打たれるとともに学ぶことの多い研究発表だったと思いました。

続いて、学校の研究発表ですが、私も浅間中学校と府中第九小学校に出席しました。まず1月19日の浅間中学校は東京都教育委員会の授業改善推進拠点校ということで、主体的に学習に取り組む態度をどのように評価するのか、ということについての研究でした。主体的に学習に取り組む態度の評価はとても難しいですが、これがきちんとできないと単なる知識理解に留まってしまいますので、現在の学習指導要領においてとても大きな課題だと思っています。浅間中学校は国立教育政策研究所の指導事例を非常に丁寧に読み込み、探究活動を取り入れながら生徒にルーブリックによる段階的な目標を示すことで、粘り強く学習に取り組んだり、または自らの学習を調整したり、「こうやったらいいのかな、ああやったらいいのかな」ということで調整したり、そうした取組について研究発表をされていました。

それが具体的な研究授業に表れていたと思いますが、学校のホームページに全ての教科の指導案が載っていて、研究発表のときにご紹介いただいたので私も見てみました。やはり同じ学校の中でも教科や先生方によって温度差があり、その辺りが課題だと思いましたが、そういったことも含めて浅間中学校の取組はぜひ全ての学校で学んでいただいて、それぞれの学校での取組につなげていただきたいと思います。

この日の講演は武蔵野大学の長田先生のご講演でした。そもそも評価というのはどういう意味があるのかということについて確認のお話と、それから目標を共有化しながらルーブリックを活用していくということの意義、それから毎時間、毎時間の授業と単元を通しての流れ、その辺りの関係について分かりやすくお話いただきました。

実はその翌週に、関係する学校へ助言に伺う機会がありまして、この浅間中の発表がとて  
もすばらしかったので、研究発表の資料を頂き、その学校に配らせていただきました。そう  
いった意味でも、いろいろな形で貢献できる発表だったのではないかと思います。

次に2月8日、府中市立第九小学校の人権尊重教育推進校としての発表にも参加しました。  
先生方の研究発表の中で非常に印象に残っているのが、「自分事にするのだ」ということが  
キーワードだったと思います。例えばボッチャをきっかけにして、これをやらせてみよう  
と思ったけれども、その道具がないときに「道具がなくてもできることは何だろう」というこ  
とで、オリジナルのシッティングバレーを考えてみたということを通して、「問題に直  
面したときに自分の問題として考える」ということ、そして「子供が何をしたいのかとい  
うことについて耳を傾ける」ということを強調して発表されていました。

それから、障害者施設こむたんでの活動についての発表では、この活動を通して自分自身  
の偏見との出会いがあったのではないかとということ、そして、多くの人が障害のある人に関  
わりながら自分の問題として取り組んでいくことの重要性についての発表がありました。

ご講演は早稲田大学の小林先生の講演で、子供の声を聴くということの重要性と、褒める  
ということはとても大事だということ、そしてただ褒めるだけではなく、子供の社会的な行  
為をきちんと認める、具体的に取り上げて褒めるということの意味、それから対話とい  
うことの重要性についてのお話がありました。要するに一人一人の主観を尊重しながら対話を通  
してそれを高めていくということの意義ですとか、対話が成立する授業とその重要性、そし  
て「授業づくりこそがクラスづくりだ」という言葉がとても印象に残りました。

研究発表の後、校長室で研究主任の先生方とお話をしたのですが、非常に気さくに  
お話ししてくださって、そもそも校長先生としては「通常級の子供と特別支援学級の子供が  
日常的に遊べる学校にしたい」ということが強い思いだったと、それが「いつの間にか自然  
にできるようになってきました」というお話を聞いて、研究というのはこういうふうに日常  
的な子供の姿につながっていくのもでなければいけないと思いましたし、そういった意味  
では府中第九小学校の取組はとてすばらしい取組だったのではないかと思います。

併せて、人権尊重教育推進校を受け入れるというときに先生方は、非常に戸惑ったとい  
うことも率直におっしゃっていて、その戸惑いから2年間の研究が始まり、そして大きな成果  
につながったということで、本当に先生方のご努力には敬意を表したいと思います。

ぜひこういった研究校の成果がその後もつながるようなフォローアップと市内全ての学校  
への活用をお願いしたいなと思っています。以上です。

○教育長（酒井 泰君） 続きまして山下委員、お願いします。

○委員（山下和則君） 今回、教育委員活動報告としては大きな活動はありませんでした  
ので、私が経験したことをご報告したいと思います。

私はPTA会長を含め、10年間活動しておりました。今の時期になりますと、ネットで  
はPTAのネガティブキャンペーンが始まって、人事の後任を決めていく中でそれが足かせ  
になるのか分かりませんが、とても苦勞する時期になってきます。私が考えるに、なかなか  
決まらないのは、クラス理事を決めたりするときに、いきなりくじ引きで決めてしまうところ  
が一番の原因かなと思っています。突然何をするか分からない人に役を押しつけるところ  
がもめるところだと感じております。

私自身心掛けていたのが、事前にきちんと説明をして協力を募るようにしておりました。私自身そういった決め事には必ず立ち会うようにして、本人にお願いしてまいりました。それが幸いしたのか特に大きくもめることもありませんでした。無償で人を動かすと考えると、気持ちのところがとても大事だなと感じております。

もう1つ心掛けてきたことがコミュニケーションをしっかりと取ることでした。私が会長になったとき、学校へ行っても教員の方々が挨拶をしてくれることが少なく、学校と距離を感じていました。このままではよくないと思い、何とか教員の方にこちらのほうへ向いてもらおうと私なりにできることをしました。その結果一番よかったことは笑顔で挨拶でした。挨拶は簡単なようでいろいろと難しい場面もあつたりしましたが、積極的にしていくことで、2学期の運動会を終える頃には普通に挨拶ができるような関係になりました。コミュニケーションを取る上で本当に大事なことはまず挨拶からだ本当に確信しました。そのおかげで、プライベートでまちを歩いているとあまり知らない方に声をかけられることもしばしばあつて困ることもありました。挨拶が当たり前のようにできると地域力も上がり、防犯等いろいろ含めてよい効果が出てくるのかなと思っております。以上です。

○教育長（酒井 泰君） ありがとうございます。

それでは、ここで定例会を中断します。恐れ入りますが、傍聴者及び説明員などの関係者以外は、ご退席願います。

午後2時46分中断

\_\_\_\_\_ ◇ \_\_\_\_\_

午後2時48分再開

\_\_\_\_\_ ◇ \_\_\_\_\_

◎第11号議案 府中市教育委員会事務局職員の人事異動について  
(非公開会議により非公開)

○教育長（酒井 泰君） それでは、これで令和6年第2回府中市教育委員会定例会を閉会といたします。

\_\_\_\_\_ ◇ \_\_\_\_\_

午後2時49分閉会

以上、会議のてん末を記載してその相違ないことを証  
するため、ここに署名する。

令和6年6月20日

府中市教育委員会教育長

酒井 泰

府中市教育委員会委員

山下 和則